



Taka Ishii Gallery

Photography / Film

5-17-1 2F Roppongi Minato-ku Tokyo #106-0032, Japan

tel 03 5575 5004

fax 03 5575 5016

web www.takaishiigallery.com

email tigpf@takaishiigallery.com

吉野英理香 「MARBLE」

会期：2018年4月7日（土）－5月19日（土）

会場：タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム

オープニング・レセプション：2018年4月7日（土）18:00-20:00

タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルムは、4月7日（土）から5月19日（土）まで、吉野英理香個展「MARBLE」を開催いたします。タカ・イシイギャラリーで3度目の個展となる本展では、2014年から2017年にかけて撮影された作品群より17点を展示いたします。

「MARBLE（マーブル）」は、「光の中できらめく結晶石」を意味するギリシア語 MARMARON に由来する大理石のことです。

石灰岩が、熱で変成して再結晶した、美しく輝く石。

石の中で、異質なものがフュージョンする。

バナラ色の石の表面上に、いくつもの緩やかな線が描かれ MARBLE 模様生まれます。

私がカメラを向けるのは、日々のなかにあります。

レンズを通した光が結ぶイメージは、虹のかけらのようにフィルムに感光される。

瞬間が永遠になり、かけがえのない時間が、印画紙の上に浮かび上がります。

「MARBLE」は、複雑で、魅惑的な時間の象徴です。

私にとって、自由と希望を見出すカギのようでもあります。

美しい響きに魅せられてイメージを想起し、写真で表現してみようと思いました。

ほんの少しでも、ニュアンスを写すことができれば幸いです。

レンズを通して見た光の結晶。

私の欲望が、白い印画紙の上に緩やかな線を描く。

2017年12月 吉野英理香

『無垢と経験の写真 日本の新進作家 vol. 14』 展覧会カタログ、東京都写真美術館、2017年、p. 18より抜粋

本展で吉野は、写真制作を始めて以来日々弛むことなく向き合ってきた自身の写真表現を、自然のなかで長い歳月をかけて独特な模様を形成する大理石（MARBLE）に重ねています。日常を取り囲む身近なものを被写体とする吉野の写真は、その意味を取り立てて説明することもなく、カメラを携え歩くなかで作家の視線が赴く先を淡々と切り取っていきます。偶然性や必然性に身を任せながら、気になる光景や知らない、分からないものとの出会いを探し、自分が見たという確信を得てシャッターを押す。ある程度の量として纏まった写真をプリントし組み合わせを変えたりしながら、自らが見たかったイメージの断片を集積し、更なる撮影へと向かっていく。そうした朴訥ともいえる撮影と編集作業を繰り返した先に見える吉野の作品世界には、蓄積された時間や記憶、経験が深みをもって凝縮され、作家特有の空気感が漂っています。吉野の原点であるストリートスナップの手法は、モノクロからカラー作品制作へと移行し発表した『ラジオのように』（2011年）以降、現在も一連の作品に緩やかに通底しています。前作『NEROLI』（2016年）で見た静けさや強さは、本展「MARBLE」において、独自に培われた刻の感覚のなかでより豊かな襞を形成し、鑑賞者をその作品世界へと誘います。

本展の開催に合わせ、作品集を刊行いたします。

【作品集詳細】

吉野英理香『MARBLE』

タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム刊（2018年）

販売価格：¥2,300-（税抜）

ソフト・カバー、40頁、掲載図版24点、H21 x W27.2 cm

金子隆一によるテキスト収録（英語・日本語）

吉野英理香は1970年埼玉県本庄市生まれ。1989年から写真の制作を開始し、1994年に東京総合写真専門学校を卒業。在学中には写真家・鈴木清らの影響を受けながら制作を続け、90年代半ば以降はいわゆるストリート・フォトグラファーとして、多数のモノクロ作品を発表する。2010年からカラー作品の制作を開始。都心から関東北部で撮影される作品は、見る者をその独特の作品世界に引き込む新たな魅力を湛えている。主なグループ展に、

「Eleven & Eleven: Korea Japan Contemporary Art 2002」省谷美術館（ソウル、2002年）、「Black Out: Contemporary Japanese Photography」ローマ日本文化会館（ローマ、2002年、以後パリ、東京に巡回）、「Nonchalant」4-F ギャラリー（ロサンゼルス、2004年）など。主な個展に、「ICE Echo Wave」銀座ニコンサロン（東京、1995年）、「Enoshima Zero Meter」Works H.（神奈川、1996年）、「It's a New Day」銀座ニコンサロン（東京、1998年）、「Max Is Making Wax」ビューイングルーム四谷 ユミコ チバ アソシエイツ（東京、2001年）、「Eleanor Rigby」横浜市民ギャラリーあざみ野（神奈川、2008年）、「Just Like on the Radio」Port Gallery T（大阪、2011年）、「Digitalis」タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム（東京、2012年）、「NEROLI」タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム（東京、2016年）など。東京都写真美術館に作品が収蔵されている。

是非、貴誌・貴社にて御紹介下さいますよう宜しくお願いいたします。

尚、掲載用写真の貸出など、御質問がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルム

展覧会担当：小菅 優子 プレス担当：岡村 万里絵

〒106-0032 東京都港区六本木5-17-1 AXISビル2F tel: 03-5575-5004 fax: 03-5575-5016

e-mail: tigpf@takaishiigallery.com website: www.takaishiigallery.com 営業時間：11:00-19:00 定休日：日・月・祝日



Erika Yoshino

“Untitled”, 2017

C-print

© Erika Yoshino



Erika Yoshino

“Untitled”, 2014

C-print

© Erika Yoshino